

令和4年度事業報告

特定非営利活動法人スマイル銚子

児童福祉法事業

1. 継続事業・

(1) 子どもたちの放課後・休日の療育支援事業

児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業

・こども園「えがおの家」・こども育ちセンター「えがおの広場」

・街かどサロン「えがおのサロン」

- 陣屋町と新生町に事業運営と活動拠点を構えて活動内容と範囲もより拡がりました。
- 令和4年度中は、コロナ禍でもあったために行事、イベント等活動内容は規模を縮小したり、或いは、延期・取り止めも致しました。ただ、日常の活動をより楽しくワクワク感が溢れ出る環境づくり(余暇技能・コーピングスキル・社会性・地域での技能習得)をしたことで、皆で笑顔いっぱいの時間と空間、そして仲間づくりをして過ごしました。
- 恒例の街かどサロン「子ども食堂」、こども夏祭り、敬老祝賀会、餅つき大会等は、コロナ禍により中止又は規模縮小としました。
- 地元地域の皆さんとは、町内会を代表して会長さんにクリスマス会、えがお卒業式に参加して頂きました。子どもたちは、地域社会との交流、社会性の向上、生活する力の底上げ、心の育ちに繋がる活動が出来ました。
- 通所支援児童の登録数は、45人となりました。
- 開設して16年目になります。この間、放課後、休日や長期休暇等には、銚子特別支援学校を始め、銚子市、神栖市、旭市、匝瑳市、東庄町の小・中学校及び鹿島特別支援学校の子どもたちが通園し、楽しく健やかに元気に活動しました。
- 地域の療育支援センターや小・中学校、特別支援学校、わかば学園、地域の関係事業者や関係福祉団体などと子どもたちの療育支援や子育て支援の連携を図りました。
- 見学、体験の問い合わせや、未就学児や小・中学校の支援学級の児童の登録も増えました。
- 通園のきっかけは皆さんの口コミ、SNS、発達支援センター、行政、教育医療関係等からの紹介でした。
- 春・夏・冬休みなどの長期休暇のみに限らず、学校の休業日、登校渋り、いわゆる不登校児童の相談・通所支援も増えました。
- 学校、教育関係者の方々にも、本事業内容が理解され、支援が必要な子どもたちや家族を取り巻く環境も良くなり、関係機関との連携がより一層構築されました。
- 例年は、長期休暇中に学生等のボランティア、実習、職場・職業体験もありましたが、コロナ禍であるため今年度は延期、中止となりました。

(中学・高校生、大学生、小中学校教諭、養護教諭、児童療育指導員等)

- 毎週月曜日から土曜日の開所日が定着しており、特に土曜日は、子ども会議(第1)やスポーツデー(第2, 4)、書道教室(第3)、アート教室等で活動が楽しめるように企画しましたが、コロナ禍のため、地元の公園やえがおの広場、街かどサロンを利活用しました。
 - ご家族の就労の支援、家庭の都合や用事に限らず、子どもたちにとって学校と家庭以外の第三の居場所、居心地の良い場所、まちの児童館的な役割、療育支援の場、子どもたちの遊びづくり・仲間づくり・生活づくりを安全安心感ある環境を保障して、本人の活動ペースに合わせた支援を取り組みました。
 - 子どもたちの輝く笑顔を見るために！心の輝く療育を！活動理念として、療育の支援、指導の場として、支援の質の向上を目指して各種研修会や学習会、特に発達障害に関する勉強会等に積極的に企画参加しました。
 - 研修会・セミナー等は、コロナ禍により、オンラインでの参加が増えましたが、発達障害、自閉症関係の学会(日本発達障害学会、日本自閉症スペクトラム学会、日本LD学会、TEACCH研究会、千葉放課後連、全国放課後連盟)にも加盟して、情報収集や研修活動等を行いました。
 - 子どもたち、家族、地域のニーズに応えることで、地域社会に貢献し、地域に必要とされる社会資源事業として取り組みました。
 - 今年度は、定員の95%を想定していましたが、年間達成率は、えがおの家106%、えがおの広場112%でした。えがおのサロン0%です。
 - 昨年度から医療的ケア児の支援も始まり、登録者数4名となりました。
通園医療的ケア対象児童3名は、専門職の支援を受けて元気に通園しました。
 - 事業開始にあたり、登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)の千葉県指定を受けました。
 - 新規事業の新規多機能型(居宅訪問型児童発達支援・保育所等訪問支援)事業を令和2年4月1日開設しましたが、コロナ禍であったために活動はできませんでした。
- ① 居宅訪問型児童発達支援事業
- 外出が困難な障害児の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、生活能力向上のための訓練等の供与に努めます。
(児童指導員、保育士、心理師、看護師、理学療法士)
- ② 保育所等訪問支援事業
- 障害児が児童との集団生活に適応することができるように、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な支援を行います。
(児童指導員、保育士、心理師、看護師、理学療法士)
- ③ グループホーム「共同生活援助」の開設準備をし、数件の物件がありましたが、関係機関、関係者とも検討した結果、保留となりました。
- (2) 障がい者相談支援事業所「えがおのネットワーク」
- 今までの経験を活かして、身近な指定相談支援事業所「えがおのネットワーク」として、指定を受けています。

- 今年度も千葉県障害福祉課から千葉県障害児等療育支援事業の委託を受けました。
- 今年度の協議予算額は80%を想定していましたが、達成率は、コロナ禍であり、15%でした。
- 主に子育て、療育等の相談を受けて、関係機関を繋いだ支援をしました。
- 全ての障害児者に対して計画相談支援を行うこと(いわゆるオールケアマネ)になり、ケアマネージャーとして計画作成に取り組みました。
- 日本相談支援専門員協議会、千葉県相談支援事業連絡協議会に加盟して情報収集や研修活動等を行いました。
- 地域の方や関係者等の日常生活上の相談援助は継続的に行いました。

障害者総合支援法事業

1. 継続事業

①多機能型事業所「にっこりえがお」

生活介護と就労継続支援B型事業

- 開設6年目となりました。街かどサロンで運営しました。
- 建物全体の名称は、「街かどサロンスマイル銚子」です。(新生町1丁目45番23)
- 1階に「にっこりえがお生活介護」と「えがおのネットワーク」、2階に「にっこりえがお就労継続支援B型事業」となります。事業定員は、生活介護10名、就労継続支援B型10名の合計20名の多機能型事業所です。
- 通所支援対象者は、日常生活での介護支援が必要とされる人たち、就労への支援が必要とされる人たちであり、制度上の各種の支援受給者です。
- 就労支援としての作業等は、施設外就労として寶満寺様の境内清掃、圓福寺様のお守り製作と境内清掃、(清掃・手入れ業務等)、地元陣屋町公園の清掃、民間ビルの清掃業務その他ご近所の草刈り作業等幅広く活動を行いました。
ただ、コロナ禍であるために、内職作業の激減がありましたが、地元の皆さんに私たちの活動をご理解ご支援していただいたことで、圓福寺様の境内清掃作業及び町内会の公園清掃作業の拡大にも繋がりました。
- 生活介護では、身体介護、生産性活動として境内清掃のお手伝い、創作活動、余暇活動、身体づくり活動、散策、レクリエーション活動など行いました。
- 多機能型の特性・利点を生かして本人たちにとって居心地良く楽しく継続性ある活動が出来るような内容で支援をしました。
- 毎日通所することを目標に、安定感ある生活ペースの継続性と心地良い感情を引き出して、生きがい・やりがい等目標を持って活動をすることへ援助しました。
- 就労継続支援B型通所者から1名は、一般就労へ結び付きました。
- 同時に他の2名は、一般就労に向けて取り組んでいます。
- 今年度は、定員の80%を想定していましたが、年間達成率は、生活介護104%、就労B68%でした。多機能型で86%でした。

自主事業

1. 継続事業

① ふるさと遊学

- 自然と触れ合うことで、健全なところを育成し、銚子の魅力を再発見することが目的のふるさと遊学を予定していましたが、コロナ禍であるため残念ながら今年度は中止となりました。

予定	「ホテルを見よう！！」 ●ホテル観賞会	八木町 豊岡農村婦人の家前
----	------------------------	------------------

② スマイル星数事業

- 現行の公的な福祉サービス(障害者自立支援法、児童福祉法、介護保険法など)では、まかない切れずに立ちゆかない、地域で生活していく上で本当に必要とされていることに少しでも貢献できるよう制度外サービス事業(パーソナルアシスタント)です。
- 制度では、利用の制限などがあるため、時間数は少しいますが、児童のきょうだいの利用が、体験という形でありました。

③ ホームページのリニューアルとフェイスブック、ニュースレターのリリースについて

- ホームページは定期的な更新をしました。分かり易く見やすいことを中心に作成依頼して情報発信しました。
内容もフェイスブックとリンクしてあり、活動の様子など見やすくなっています。
- 「週刊ひろがるえがお」は隔週木曜日に発刊して、にっこりえがお、えがおの家、えがおの広場、えがおのサロンの情報や地元の情報を掲載して、ご近所、地元町内会、関係者、関係機関等へにっこりえがおの通所者が隔週で約500部配布いたしました。
にっこりえがおへの就労支援の仕事やえがおの広場への見学・訪問や問い合わせも増えました。

※ 皆さんからの投稿や情報提供をお待ちしております。

NPO支援団体に加盟

特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 通称名:NPOクラブ

- 県内のNPO団体の活動支援や情報交換、交流及び団体の活動支援などの目的で加盟しました。
- 素早い対応で、NPO活動や市民活動の支援や相談・援助を担い、ともに発展成長に役立ち活用出来ました。